

危機に瀕している家族

困難な状況にある家族がそれに対処することができる一方で、同じく苦境にある他の家族が容易に崩壊してしまうのはなぜか。こうした家族を強くするものは何か。彼らの力は他の「危機に瀕している家族」に伝えることができるだろうか。今日の世界で、多くの家族は、機能し実際に生き残るための能力を脅かす困難な課題に直面している。

危機に瀕している家族の概念は、一領域における問題に対処できない家族はしばしば他領域の問題にも対処できず、したがって崩壊の危機にあるという所見から導かれる。他方では、困難な状況に対処できる家族は、障害の克服における成功にきわめて重要ないくつかの共通の特徴を示している。

世界中の家族は実際、持続的で厳しいストレスにさらされている。疾病、戦争、貧困、飢饉、環境問題およびその他の圧力がのしかかっており、しばしばその対処能力を超えている。これらの圧力は明らかに、開発途上国に限られない。失業、薬物、犯罪およびエイズ問題が家族に及ぼす影響は、開発途上国でも先進国でも等しく見られる。

これらの問題に取り組むため、国連システムは「危機に瀕している家族」の実際的な定義を、生産、再生産および社会化の基本的機能を達成できない家族とすることを提案した。こうした家族は、健康、栄養、住居、肉体的および情緒的世話、人格形成といった領域における家族成員の基本的ニーズを満たさない。

個人が個人的・集団的な安全の感覚を失っている家族、個々の成員が物理的または心理的搾取、もしくは権利と責任の配分における不公正を経験している家族、ならびに政治的、社会的または経済的原因により崩壊しそうな家族も、危機に瀕していると考えられる。

家族を危機に直面させる原因のいくつかはまさに家族内にある。家庭内暴力、薬物およびアルコール嗜癖、児童および性的虐待、ならびに児童遺棄などである。こうした病理が明らかになる場合、公共施設や任意施設が家族の養育および介護機能の責任を負うことにより、重要な役割を演じることもある。

多くの家族が、不可抗力によって危機にある。難民および避難民家族、移住家族、ひとり親家族、そして環境破壊で生計手段が損なわれた家族など、他にも例は数多くある。これらの状況において、基本的ニーズを満たすことができる家族の特性を確認する必要がある。ひとたび確認されれば、その特性は他の家族において強化することができる。

難民家族は特殊な問題に直面している。祖国から避難国への突然の移住において、夫婦が離別し、子どもが肉親から離れるよう余儀なくされることもある。不慣れな状況における無力感と不安感、疾病と栄養不良は、生き延びる家族に多大な試練を課す。

しかし、極端な状況でも家族はかけがえのない力の源泉でありつづける。国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）は、最も効果的な救援措置は家族の価値を認識する措置であることを見出した。同機関は難民家族が自らを組織する資源および能力を活用するアプローチを確立した。難民家族は自助努力のための潜在的単位と見なされており、その力が全面的に用いられなければならない。

ひとり親も重要な問題である。シングルマザーが世帯主である家族の子供は、両親と同居する子どもに比べて貧困生活をおくる見込みがかなり高い。米国では、黒人の婚姻夫婦の子どものうち貧困者は18%にすぎないが、黒人のシングルマザーの子供のうち65%は貧困者である。母親が十代であるひとり親家族は、財政資源の全般的な不足と親としての経験不足により、最大の問題を提起している。

家族を危機に陥らせる問題のいくつかは、予測と防止が可能である。人口に占める脆弱な家族の割合はめったに測定されない。問題が現れるまで、この種の家族についてはほとんど知られない。脆弱な家族は、診断も処置もないまま放置されれば、やがて地域社会が負う負担と費用が増大する。初期診断の後に効果的な処置が一層の崩壊を防げば、相当の利益が得られる。

効果的な防止は、費用が高く効果が低い治療アプローチよりも望ましい。「救急処置」は、特別な住宅供給、資金援助、および転居家族の再装備と安定化を伴う。家庭内暴力が家族または夫婦を脅かす場合には、避難所、女性および子どものための法的センター、電話ホットライン、および治療プログラムといった即時保護が提供される。長期的措置には、より良い教育および広報キャンペーンと、女性の地位の向上が含まれる。

これらの問題に取り組むため、国連システムは、国際家族年に関する特別機関間会議の後援の下で、危機に瀕している家族に関してシステム全体にわたる作業部会を設置し、脆弱性または崩壊により脅かされている家族のための共同活動を行っている。

同作業部会は、国際家族年事務局の組織的援助を得て、世界保健機関（WHO）、ユニセフ（国連児童基金）、国連教育科学文化機関（UNESCO）、および食糧農業機関（FAO）により率いられている。同作業部会の最初の会合は、1993年7月にジュネーブでWHOにより主催された。

目的は、国連の専門技術を結集し、家族を危機に陥らせる原因を明らかにし、どうしたら家族が問題に対処できるようになるかを考え、危機に瀕している家族のための活動を開発する手段を確認し、家族の福祉を向上させる活動を促進することである。これは、国際家族年に向けて国連システムの諸機関により実施されている共同活動の一つである。